(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12)公開特許公報（Ａ）　(11)特許出願公開番号
特開2000－12688
（Ｐ２０００－１２６８８Ａ）
(43)公開日　平成12年１月14日(2000.1.14)

(51)Int.Cl.[7]	識別記号	ＦＩ	テーマコード（参考）
H01L 21/768		H01L 21/90	B　5F033
21/3205		21/88	N
			R

審査請求　未請求　請求項の数５　ＯＬ　（全６頁）

(21)出願番号　特願平10－176769

(22)出願日　平成10年６月24日(1998.6.24)

(71)出願人　000005049
シャープ株式会社
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

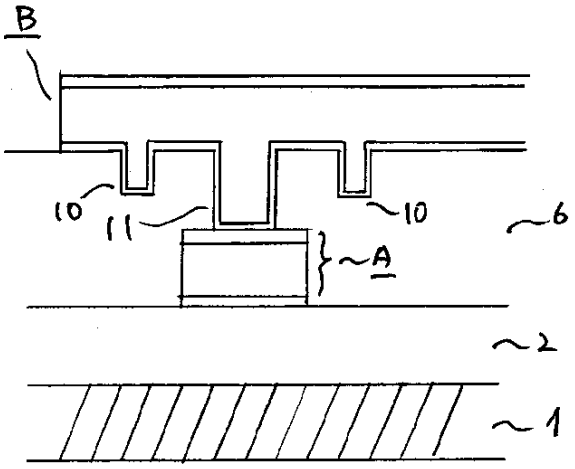
(72)発明者　那須　雅明
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号　シャープ株式会社内

(74)代理人　100103296
弁理士　小池　隆彌

Ｆターム(参考)　5F033 AA04 AA13 AA29 BA12 BA15 BA17 BA25 BA38 BA43 CA09 DA06 DA08 DA15 DA35 DA36 DA38 EA03 EA19 EA25 EA27

(54)【発明の名称】半導体装置及びその製造方法

(57)【要約】
【課題】　デバイスの高集積化に伴い配線の信頼性が大きな問題となっており、本発明は実際に電流が流れることにより断線を引き起こす現象として知られているＥＭ（エレクトロマイグレーション）を解決するものである。
【解決手段】　本発明は、下層配線層とその上の層間絶縁膜に設けられたビアホールで接続された上層配線Ｂを含む多層配線の半導体装置において、実際のビアホール１１付近に上層配線Ｂのパターンに沿って、深さが下層配線Ａに届かない程度に１個もしくは複数個のダミーのホール１０を形成し、上層配線Ｂの一部を上記ダミーのホール１０に埋め込んで上層配線Ｂを形成してなることを特徴とする半導体装置である。



1

【特許請求の範囲】

【請求項１】　下層配線層とその上の層間絶縁膜に設けられたビアホールで接続された上層配線を含む多層配線の半導体装置において、実際のビアホール付近に上層配線のパターンに沿って、深さが下層配線に届かない程度に１個もしくは複数個のダミーのホールを形成し、上層配線の一部を上記ダミーのホールに埋め込んで上層配線を形成してなることを特徴とする半導体装置。

【請求項２】　上記上層配線は、Ａｌあるいは Ａｌ系合金膜を含んでなることを特徴とする請求項１記載の半導体装置。

【請求項３】　上記上層配線は、ＣｕあるいはＣｕ系合金膜を含んでなることを特徴とする請求項１記載の半導体装置。

【請求項４】　下層配線層とその上の層間絶縁膜に設けられたビアホールで接続された上層配線を含む多層配線の半導体装置製造方法において、実際のビアホールと、該ビアホールの付近に上層配線のパターンに沿って、深さが下層配線に届かない程度に１個もしくは複数個のダミーのホールとを同時に形成する工程、上層配線の一部を実際のビアホールとダミーのホールに同時に埋め込んで上層配線を形成する工程とを有してなることを特徴とする半導体装置の製造方法。

【請求項５】　フォトレジストに、実際のビアホールに対応するパターンと、ビアホールパターンより径の小さいダミーのホールパターンを形成し、ドライエッチングによりビアホール及びダミーホールを同時に形成することを特徴とする請求項４記載の半導体装置の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は、特にＥＭ（エレクトロマイグレーション）耐性のある配線構造の半導体装置及びその製造方法に関する。

【０００２】

【従来の技術】デバイスの高集積化に伴い配線の信頼性が大きな問題となっている。配線の信頼性の問題としては、ＳＭ（ストレスマイグレーション）やＥＭ（エレクトロマイグレーション）がある。ＳＭは、主に配線とそれを囲む絶縁膜との熱膨張係数の違いから生じる応力により、配線が断線する現象であるが、現在、通常は、Ａｌ系配線層の下に高融点金属の層（例えば、ＴｉＮ／Ｔｉ、ＴｉＮ、Ｔｉ、ＴｉＷ、Ｗ等）を形成することにより、完全にＳＭにより断線することがないようにしている。

【０００３】他方、ＥＭは実際に電流が流れることにより断線を引き起こす現象であり、電子流の流れに対してＡｌ原子の移動が引き起こるが、Ａｌ原子の移動が不連続である箇所、特に、ビアホール付近のＷプラグと、それに接続されている上層および下層配線付近がＥＭ耐性が小さい所である。これに対応して、「ＪＳＴフォーラム　第１３期　第３回　最適なＶｉａ構造と形成プロセス　ボーダーレスＶｉａの特性」では、ビアホール近傍にリザーバーを設置してＡｌ体積を大きくることにより、ＥＭによるボイドの発生する時間が長くなるという報告がされている。

2

【０００４】図１０、図１１はリザーバーの構造例を示す断面図及び平面図である。

【０００５】図において、１はＳｉ基板、２はＳｉ基板１上に形成されたＢＰＳＧ膜等の絶縁膜、３は高融点金属層（例えば、ＴｉＮ／Ｔｉ）４はＡｌ系合金層、５は高融点金属層（例えば、ＴｉＮ）で、３、４、５により下層配線Ａを形成する。６はＰ－ＴＥＯＳ膜等からなる層間絶縁膜、２２は層間絶縁膜６に形成されたビアホールで、１５はこのビアホール２２に充填されたタングステン（Ｗ）である。１２は高融点金属（例えば、ＴｉＮ／Ｔｉ）、１３はＡｌ系合金層、１４は高融点金属（例えば、ＴｉＮ）で、１２、１３、１４により上層配線Ｂを形成する。この上層配線層をビアホール２２部より延長して形成することによりリザーバーＣとする。

【０００６】上記よりＥＭによるボイドの発生する時間を長くできるのは、リザーバーＣにはＥＭを引き起こす電流が流れず、Ｗプラグとの接続部からＥＭによりＡｌ原子が移動するとともに、リザーバーＣからＡｌ原子が移動するため接続部で移動したＡｌ原子の不足分を補うためである。

【０００７】このほかのＡｌ体積を増加させる方法として、特開平４－３４８５４７号公報の技術がある。

【０００８】図１２から図１５はこの製造方法の工程を示す断面図である。

【０００９】図１２は、Ｓｉ基板１６上に絶縁膜１７を形成した後、Ａｌ系合金膜１９を堆積させてから配線として加工し、次にＰ－ＣＶＤ法により酸化膜１８を堆積した後、続いてＳＯＧ膜２０を形成したものである。

【００１０】次に、図１３に示すように、深さ２００ｎｍの窪み２１を形成した後、その底部にホール２２を形成し、選択ＣＶＤ法によりタングステンシリサイド２３を必要な厚さに堆積し、窪み２１の底部が露出するまでエッチバックすることにより、ホール２２内のみにタングステンシリサイド２３を埋め込む。

【００１１】さらに、Ａｌ系合金膜２４をバイアススパッタ法により窪み２１が充分に埋まるまで堆積し、余剰分を等方性ドライエッチ等で除去した後、図１４に示すように、窪み２１をＡｌ系合金膜２４のみで埋め込む。続いて、図１５に示すように、スパッタ法によりＡｌ系合金膜２５を堆積させ、加工することにより配線を形成する。

【００１２】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前者のリザーバーＣを設置するものは、エレクトロマイグレーションを抑制するため、リザーバーＣとして０．５μｍ

の長さが必要であり、チップ面積の縮小化に障害を来す。後者の方法では、窪み２１を形成するために、プロセスの工程数が増えるという問題がある。また、窪み２１の位置も直接ビアホール２２の上にあるため、窪み２１によりＡｌの体積が大きくなっているものの、エレクトロマイグレーッションによる電流が直接流れるため、Ａｌ原子の移動はおこり、リザーバーのようにＡｌ原子の供給源がなければ断線に至ってしまう問題がある。これは、上層配線Ｂの第１導電膜のＡｌあるいはＡｌ系合金膜をＣｕあるいはＣｕ系合金膜に変える場合も同様である。

【００１３】本発明は、実際のビアホールの付近に上層配線のパターンに沿って下層配線に届かない程度の深さのダミーのホールを形成することにより、上記問題を解決するものである。

【００１４】

【課題を解決する手段】請求項１に記載の発明は、下層配線層とその上の層間絶縁膜に設けられたビアホールで接続された上層配線を含む多層配線の半導体装置において、実際のビアホール付近に上層配線のパターンに沿って、深さが下層配線に届かない程度に１個もしくは複数個のダミーのホールを形成し、上層配線の一部を上記ダミーのホールに埋め込んで上層配線を形成してなることを特徴とする半導体装置である。

【００１５】請求項２に記載の発明は、上記上層配線は、ＡｌあるいはＡｌ系合金膜を含んでなることを特徴とする請求項１記載の半導体装置である。

【００１６】請求項３に記載の発明は、上記上層配線は、ＣｕあるいはＣｕ系合金膜を含んでなることを特徴とする請求項１記載の半導体装置である。

【００１７】請求項４に記載の発明は、下層配線層とその上の層間絶縁膜に設けられたビアホールで接続された上層配線を含む多層配線の半導体装置製造方法において、実際のビアホールと、該ビアホールの付近に上層配線のパターンに沿って、深さが下層配線に届かない程度に１個もしくは複数個のダミーのホールとを同時に形成する工程、上層配線の一部を実際のビアホールとダミーのホールに同時に埋め込んで上層配線を形成する工程とを有してなることを特徴とする半導体装置の製造方法である。

【００１８】請求項５に記載の発明は、フォトレジストに、実際のビアホールに対応するパターンと、ビアホールパターンより径の小さいダミーのホールパターンを形成し、ドライエッチングによりビアホール及びダミーホールを同時に形成することを特徴とする請求項４記載の半導体装置の製造方法である。

【００１９】

【発明の実施の形態】以下、図面にしたがって、本発明の実施例を詳細に説明する。

【００２０】（実施例１）図１から図５は実施例１の工程例を示す断面図、図６は平面図である。

【００２１】図１から図６に示される実施例１において、図１２から図１５で説明した従来例と同一機能を有するものは同一符号を付して示している。

【００２２】図１において、１はＳｉ基板、２はＳｉ基板１上に形成されたＢＰＳＧ膜等の絶縁膜、３は高融点金属層（例えば、ＴｉＮ／Ｔｉ）、４はＡｌ系合金層、５は高融点金属層（例えば、ＴｉＮ）で、３、４、５により下層配線Ａを形成している。６は下層配線Ａ上に層間絶縁膜として堆積されたＰ－ＴＥＯＳ膜（例えば１．２μｍ）等からなる絶縁膜である。

【００２３】図２において、７は層間絶縁膜６上に形成されたフォトレジストで、このフォトレジスト７に下層配線（３から５）部に対応するビアホールパターン１１と、該ビアホールパターン１１の付近に上層配線パターンに沿ってダミーのホールパターン８を複数個形成する。ただし、ダミーのホールパターン８の径はビアホールパターン９の径よりも小さく形成しており、例えば、ビアホールパターン９の径が０．４５μｍに対してダミーのビアーホールパターン８の径は０．３０μｍ以下である。

【００２４】次に、図３に示すように、ビアホール１１、ダミーホール１０を加工するため、層間絶縁膜６をドライエッチング処理を行う。ドライエッチングの条件は圧力：２５０ｍＴｏｒｒ、ＲＦパワー：１５００Ｗ、CF_4／C_4F_8／ＣＯ／Ａｒ／N_2：５／３／２００／３００／４０ｓｃｃｍである。ダミーホール１０はビアホール９より径が小さいため、マイクロローディング効果より、下層配線Ａまで届かず、深さ０．４μｍ程度のホールとなる。

【００２５】さらに、図４に示すように、上層配線膜として、高融点金属膜（例えば、ＴｉＮ／Ｔｉ）１２をスパッタ装置等により堆積した後、Ａｌ系合金１３を高温スパッタ法等により埋め込み、反射防止膜として高融点金属膜（例えば、ＴｉＮ）１４を堆積させる。

【００２６】その後、図５及び図６の断面図、平面図に示すように、ダミーホール１０部をも含む上層配線Ｂの形状に加工する。

【００２７】このように、実際のビアホール１１の形成の際、ビアホール１１付近に上層配線（１２から１４）のパターンに沿って、下層配線（３から５）に届かない程度の深さのダミーのホール１０を形成する。その後、上層配線（１２から１４）を埋め込むことにより、プロセス工程数を増加させることなく、Ａｌ原子の供給源（ダミーのホール）を形成することができ、しかも、通常のリザーバーと併用すれば、さらに、Ａｌ原子の体積を大きくできるため、ＥＭ耐性をさらに高めることが可能となる。

【００２８】また、ダミーホール１０の形成においては、実際のビアホール１１形成用のフォトマスクにビア

ホール付近に上層配線のパターンに沿って、１個もしくは複数個のダミーのホールパターンもいれておく。このとき、ダミーのホール１０の径は実際のビアホール１１の径よりは小さくすると、ビアホール１１とダミーホール１０９が同時に形成でき、しかもダミーホール１０を、マイクロローディング効果により下層配線Ａまで届かないように形成できる利点がある。

【００２９】（実施例２）図７から図９は実施例２の要部工程を説明する断面図、図１０は同平面図である。ビアーホール１１、ダミーホール１０の形成までの工程は実施例１の図１から図３で説明した工程と同様である。

【００３０】実施例２は、実施例１の場合と違って、図７に示すように、ビアホール１１及びダミーのホール１０をブランケットＷ－ＣＶＤ法により、タングステン（Ｗ）１５で埋め込んでいる点で異なっている。

【００３１】次に図８のように、、タングステン（Ｗ）１５のエッチバックを行うが、この時、層間絶縁膜６の膜表面が露出し、さらにＷのリセス量が大きくなるように処理を行う。そして、上層配線膜として、高融点金属膜（例えば、ＴｉＮ／Ｔｉ）１２をスパッタ装置等により堆積した後、Ａｌ系合金１３を高温スパッタ法等により埋め込み、反射防止膜として高融点金属膜（例えば、ＴｉＮ）１４を堆積させる。

【００３２】その後、図９及び図１０の断面図、平面図に示すように、ダミーホール１０部をも含む上層配線の形状に加工する。

【００３３】以上の実施例１、２では、上層配線Ｂの第１導電膜としてＡｌあるいはＡｌ系合金膜からなるものを説明したが、上層配線Ｂの第１導電膜として、ＣｕあるいはＣｕ系合金膜からなるものでも全く同様である。

【００３４】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、工程数を増やすことなく、Ａｌ供給源としてのダミーのホールを形成することが可能である。また、従来のリザーバーと同時に形成すれば、さらにＡｌ、Ｃｕ等の堆積が増加するため、エレクトロマイグレーション耐性をさらに高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の実施例１における工程を示す断面図である。

【図２】本発明の実施例１における工程を示す断面図である。

【図３】本発明の実施例１における工程を示す断面図である。

【図４】本発明の実施例１における工程を示す断面図である。

【図５】本発明の実施例１における工程を示す断面図である。

【図６】本発明の実施例１における工程を示す平面図である。

【図７】本発明の実施例２における工程を示す断面図である。

【図８】本発明の実施例２における工程を示す断面図である。

【図９】本発明の実施例２における工程を示す断面図である。

【図１０】従来技術における工程を示す断面図である。

【図１１】従来技術における工程を示す平面図である。

【図１２】他の従来技術における工程を示す断面図である。

【図１３】他の従来技術における工程を示す断面図である。

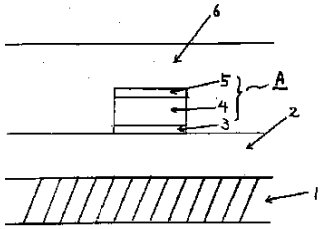
【図１４】他の従来技術における工程を示す断面図である。

【図１５】他の従来技術における工程を示す断面図である。

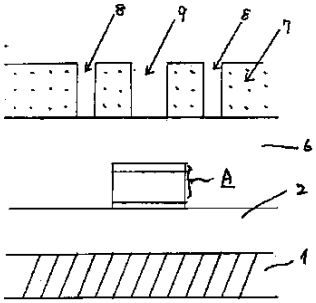
【符号の説明】

１　Ｓｉ基板
２　絶縁膜（ＢＰＳＧ膜）
Ａ　下層配線
Ｂ　上層配線
６　絶縁膜（Ｐ－ＴＥＯＳ膜）
７　フォトレジスト
８　ダミーのホールパターン
９　ビアホールパターン
１０　ダミーのホール
１１　ビアホール
１２　高融点金属（ＴｉＮ／Ｔｉ）
１３　高温スパッタで堆積したＡｌ系合金
１４　高融点金属（ＴｉＮ）
１５　Ｗ膜

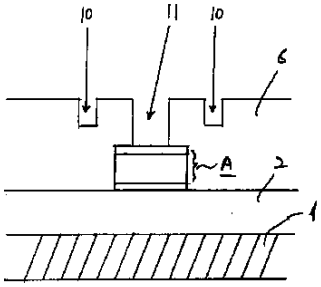
【図１】



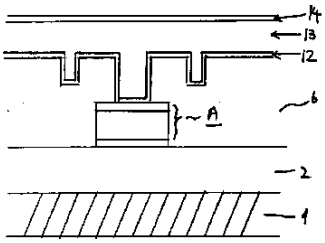
【図２】



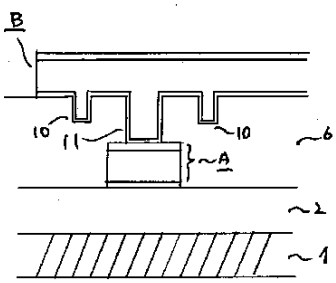
【図３】



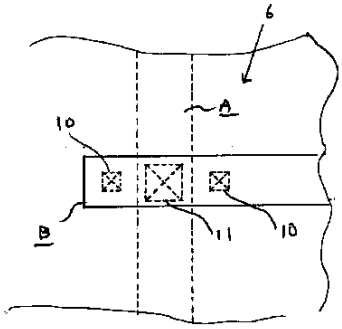
【図４】



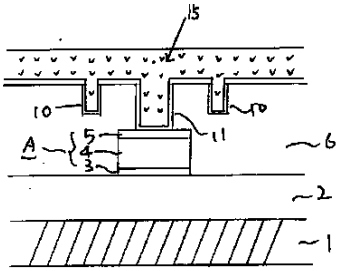
【図５】



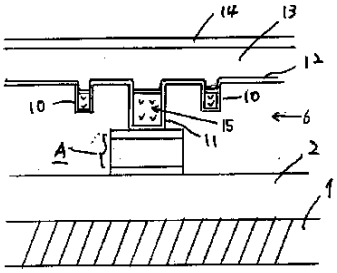
【図６】



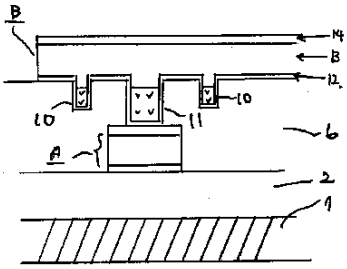
【図７】



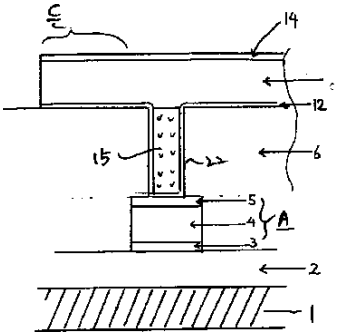
【図８】



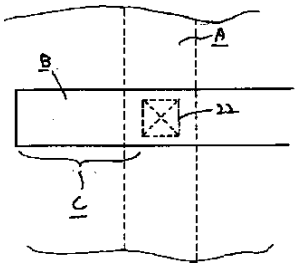
【図９】



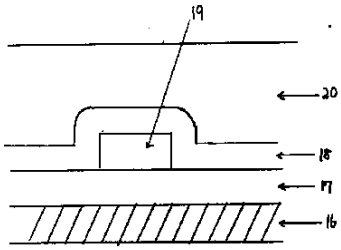
【図１０】



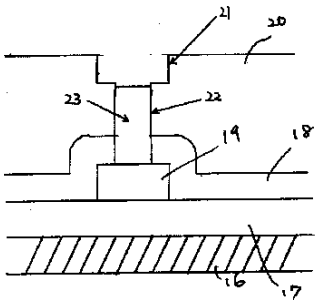
【図１１】



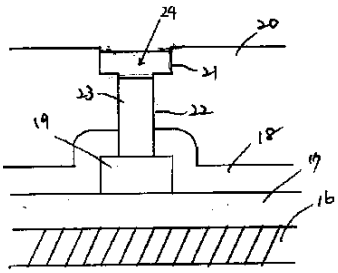
【図１２】



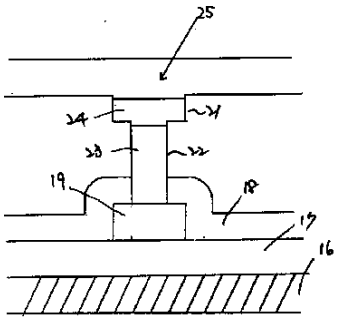
【図１３】


21
20
23
22
19
18
16
17

【図１４】


24
20
21
23
22
19
18
17
16

【図１５】


25
24
21
23
22
19
18
17
16

(19) Japanese Patent Office (JP)
(12) Published Patent Gazette (A)
(11) Japanese Patent Application Publication No.
Japanese Unexamined Patent Application Publication Official Gazette No. 2000-12688
(P2000-12688A)
(43) [Publication date] January 14, 2000 (1.14.2000)

(51) Int. Cl.[7]	Identification Code JPO Reference No.	FI		Technical Display Location
H01L 21/768		H01L 21/90	B	5F033
21/3205		21/88	N	
			R	

Examination Request: Not yet made; Number of Claims: 5 OL (Total 6 pages)

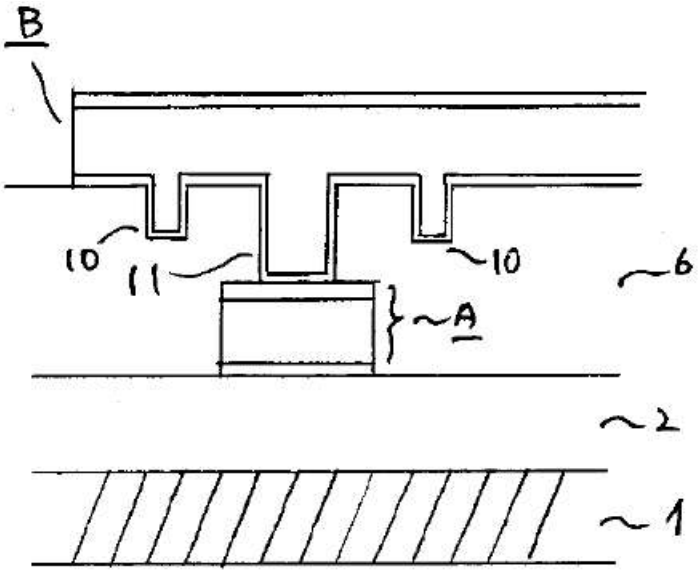
(21) Application No.: Patent Application No. H10-176769
(22) Application Date: June 24, 1998 (6.24.1998)

(71) Applicant: 000005049
Sharp Corporation
22-22 Nagaiike-cho, Abeno Ward, Osaka City, Osaka Prefecture, Japan
(72) Inventor: Nasu Masaaki
22-22 Nagaiike-cho, Abeno Ward, Osaka City, Osaka Prefecture, Japan
Inside Sharp Corporation
(74) Agent: 100103296
Patent Attorney: Koike Takanori

F-term (Reference): 5F033 AA04 AA13 AA29 BA12 BA15 BA17 BA25 BA38 BA43 CA09
DA06 DA08 DA15 DA35 DA36
DA38 EA03 EA19 EA25 EA27

(54) [Title of Invention] Semiconductor Device and Its Manufacturing Method

(57) [Abstract]
[Problem to be Solved] With the high integration of devices, the reliability of wiring has become a significant issue, and this invention aims to solve the problem known as EM (Electromigration), which is a phenomenon causing disconnection due to actual current flow.
[Means for Solving the Problem] This invention relates to a semiconductor device comprising a multilayer wiring that includes an upper layer wiring B connected through a via hole provided in a lower wiring layer and an interlayer insulating film above it, wherein one or more dummy holes 10 are formed along the pattern of the upper layer wiring B near the actual via hole 11, with a depth not reaching the lower wiring A, and part of the upper layer wiring B is embedded in the dummy hole 10 to form the upper layer wiring B.



[Scope of patent claims]
[Claim 1]
A semiconductor device with a multilayer wiring that includes an upper layer wiring connected through a via hole provided in a lower wiring layer and an interlayer insulating film above it, wherein one or more dummy holes are formed near the actual via hole, along the pattern of the upper layer wiring, with a depth that does not reach the lower wiring, and part of the upper layer wiring is embedded in the dummy hole to form the upper layer wiring.
[Claim 2]
The semiconductor device according to Claim 1, wherein the upper layer wiring includes an Al or Al-based alloy film.
[Claim 3]
The semiconductor device according to Claim 1, wherein the upper layer wiring includes a Cu or Cu-based alloy film.
[Claim 4]
A manufacturing method of semiconductor device, which includes a multilayer wiring that includes an upper layer wiring connected through a via hole provided in a lower wiring layer and an interlayer insulating film above it, wherein this method includes: a step of simultaneously forming the actual via hole and one or more dummy holes near the via hole, along the pattern of the upper layer wiring, with a depth that does not reach the lower wiring; and a step of embedding part of the upper layer wiring simultaneously in the actual via hole and the dummy holes to form the upper layer wiring.
[Claim 5]
The manufacturing method of semiconductor device according to Claim 4, wherein a pattern corresponding to the actual via hole and a pattern for dummy holes with smaller diameters than the via hole pattern are formed on a photoresist, and the via holes and dummy holes are simultaneously formed by dry etching.

[Detailed explanation of the invention]
[0001]
[Technical Field to which the Invention Belongs]
This invention relates to a semiconductor device with a wiring structure that is particularly resistant to electro-migration (EM), and a method for manufacturing such a device.

[0002]
[Conventional Technology]
With the increasing integration of devices, the reliability of wiring has become a major issue. Issues concerning wiring reliability include stress migration (SM) and electro-migration (EM).
SM is a phenomenon where wiring breaks due to stress arising from differences in the thermal expansion coefficients between the wiring and the surrounding insulating film. Currently, to prevent wiring from breaking due to SM, a high-melting-point metal layer (such as TiN/Ti, TiN, Ti, TiW, W, etc.) is typically formed below an Al-based wiring layer.
[0003]
On the other hand, EM is a phenomenon where current flow causes wiring to break, due to the movement of Al atoms in response to the flow of electronic current. The movement of Al atoms is discontinuous, especially near the W plug around the via hole, and at the points where the upper and lower layer wirings are connected. These locations have low EM resistance. In response to this, the "JST Forum, 13th Term, 3rd Meeting, Optimal Via Structure and Formation Process, Borderless Via Characteristics" report indicates that by installing a reservoir near the via hole and increasing the volume of Al, the time for void formation due to EM can be lengthened.
[0004]
Fig. 10 and Fig. 11 show cross-sectional and planar diagrams of an example structure of a reservoir.
[0005]
In the diagram, 1 is the Si substrate, 2 is an insulating film such as a BPSG film formed on the Si substrate 1, 3 is a high-melting-point metal layer (e.g., TiN/Ti), 4 is an Al-based alloy layer, and 5 is a high-melting-point metal layer (e.g., TiN), and 3, 4 and 5 together form the lower wiring A.
6 is an interlayer insulating film made of a material such as P-TEOS, 22 is the via hole formed in the interlayer insulating film 6, and 15 is the tungsten (W) filled in the via hole 22.
12 is a high-melting-point metal (e.g., TiN/Ti), 13 is an Al-based alloy layer, 14 is a high-melting-point metal (e.g., TiN), and 12, 13, and 14 form the upper layer wiring B.
By extending this upper layer wiring layer from the via hole 22, a reservoir C is formed.
[0006]
As mentioned above, the time for void formation due to EM can be extended because no current causing EM flows through the reservoir C, and as Al atoms move from the connection point with the W plug due to EM, Al atoms also move from the reservoir C. This compensates for the lack of Al atoms that moved at the connection point.
[0007]
Another method for increasing the Al volume is the technology disclosed in Japanese Patent Application No. H4 (1992)-348547.

[0008]
Fig. 12 through Fig.15 show cross-sectional diagrams of the steps in this manufacturing method.
[0009]
Fig. 12 shows the process of forming an insulating film 17 on the Si substrate 16, then depositing an Al-based alloy film 19, processing it as wiring, and then depositing an oxidation film 18 by P-CVD, followed by forming an SOG film 20.
[0010]
Next, as shown in Fig. 13, after forming a recess 21 with a depth of 200 nm, a hole 22 is formed at the bottom of the recess. Tungsten silicide 23 is deposited to the required thickness using selective CVD, and then etch-back is performed until the bottom of the recess 21 is exposed, embedding tungsten silicide 23 only in the hole 22.
[0011]
Furthermore, an Al-based alloy film 24 is deposited by a bias sputtering method until the recess 21 is sufficiently filled, excess material is removed by isotropic dry etching, and as shown in Fig. 14, the recess 21 is filled only with the Al-based alloy film 24.
Next, as shown in Fig. 15, an Al-based alloy film 25 is deposited by sputtering and processed to form the wiring.

[0012]
[Problems to be solved by the invention]
However, the former method that installs the reservoir C requires a length of 0.5 μm for the reservoir C to suppress electro-migration, which hinders the reduction of chip area. The latter method has the problem of increasing the number of process steps to form the recess 21. In addition, since the position of the recess 21 is directly above the via hole 22, while the volume of Al increases due to the recess 21, current flows directly through the recess, causing the movement of Al atoms. Without a source of Al atoms like a reservoir, this leads to disconnection. This issue also applies when changing the first conductive film of the upper layer wiring B from Al or an Al-based alloy film to Cu or a Cu-based alloy film.
[0013]
This invention aims to solve the aforementioned problems by forming dummy holes along the pattern of the upper layer wiring at a depth that does not reach the lower wiring, near the actual via hole.
[0014]
[Means for Solving the Problem]
The invention described in Claim 1 is a semiconductor device with a multilayer wiring that includes an upper layer wiring connected through a via hole provided in a lower wiring layer and an interlayer insulating film above it, wherein one or more dummy holes are formed near the actual via hole, along the pattern of the upper layer wiring, with a depth that does not reach the lower wiring, and part of the upper layer wiring is embedded in the dummy hole to form the upper layer wiring.
[0015]
The invention described in Claim 2 is the semiconductor device according to Claim 1, wherein the upper layer wiring includes an Al or Al-based alloy film.
[0016]
The invention described in Claim 3 is the semiconductor device according to Claim 1, wherein the upper layer wiring includes a Cu or Cu-based alloy film.
[0017]
The invention described in Claim 4 is a manufacturing method of semiconductor device, which includes a multilayer wiring that includes an upper layer wiring connected through a via hole provided in a lower wiring layer and an interlayer insulating film above it, wherein this method includes: a step of simultaneously forming the actual via hole and one or more dummy holes near the via hole, along the pattern of the upper layer wiring, with a depth that does not reach the lower wiring; and a step of embedding part of the upper layer wiring simultaneously in the actual via hole and the dummy holes to form the upper layer wiring.
[0018]
The invention described in Claim 5 is a manufacturing method of semiconductor device according to Claim 4, wherein a pattern corresponding to the actual via hole and a pattern for dummy holes with smaller diameters than the via hole pattern are formed on a photoresist, and the via holes and dummy holes are simultaneously formed by dry etching.

[0019]
[Embodiments of the Invention]
The following is a detailed explanation of the embodiments of the invention, based on the figures.
[0020] (Embodiment 1)
Fig. 1 to Fig. 5 are cross-sectional views illustrating the process steps of Embodiment 1, and Fig. 6 is a plan diagram.
[0021]
In Embodiment 1 shown in Fig. 1 to Fig. 6, the same functions as those in the conventional examples explained in Fig. 12 to Fig. 15 are denoted by the same reference numerals.
[0022]

In Fig. 1, 1 represents a Si substrate, 2 represents an insulating film such as a BPSG film formed on the Si substrate 1, 3 represents a high-melting-point metal layer (for example, TiN/Ti), 4 represents an Al-based alloy layer, and 5 represents a high-melting-point metal layer (for example, TiN). Layers 3, 4, and 5 form the lower wiring A.
6 is an interlayer insulating film, such as a P-TEOS film (for example, 1.2 μm), deposited over the lower wiring A.
[0023]
In Fig. 2, 7 represents a photoresist formed on the interlayer insulating film 6. In this photoresist 7, a via hole pattern 11 corresponding to the lower wiring (3 to 5) and a dummy hole pattern 8 along the upper wiring pattern near the via hole pattern 11 are formed.
The diameter of the dummy hole pattern 8 is smaller than the diameter of the via hole pattern 9, for example, when the diameter of the via hole pattern 9 is 0.45 μm, the diameter of the dummy via hole pattern 8 is 0.30 μm or less.
[0024]
Next, as shown in Fig. 3, dry etching is performed on the interlayer insulating film 6 to process the via hole 11 and the dummy hole 10.
The dry etching conditions are as follows:
Pressure: 250 mTorr
RF Power: 1500 W
CF4/C4F8/CO/Ar/N2: 5/3/200/300/40 sccm
Since the diameter of the dummy hole 10 is smaller than that of the via hole 9, it does not reach the lower wiring A due to the micro-loading effect, and the depth of the hole becomes about 0.4 μm.
[0025]
Furthermore, as shown in Fig. 4, a high-melting-point metal film (for example, TiN/Ti) 12 is deposited as an upper wiring film, and an Al-based alloy 13 is embedded by high-temperature sputtering. A high-melting-point metal film (for example, TiN) 14 is then deposited as a reflection prevention film.
[0026]
Afterward, as shown in the cross-sectional view of Fig. 5 and the plan view of Fig. 6, the shape of the upper wiring B, which includes the dummy hole 10, is processed.
[0027]
In this way, when forming the actual via hole 11, dummy holes 10 are formed along the pattern of the upper wiring (12 to 14) near the via hole 11. The depth of these dummy holes 10 does not reach the lower wiring (3 to 5).
By embedding the upper wiring (12 to 14) afterward, dummy holes can be formed without increasing the number of process steps, and by using a normal reservoir in combination, the volume of Al atoms can be increased, further enhancing EM resistance.
[0028]
In addition, in the formation of the dummy hole 10, one or more dummy hole patterns are included in the photomask for the formation of the actual via hole 11, along the upper wiring pattern near the via hole.
In this case, the diameter of the dummy hole 10 is smaller than the diameter of the actual via hole 11, allowing the via hole 11 and the dummy hole 10~~9~~ to be formed simultaneously. Moreover, the dummy hole 10 can be formed in such a way that it does not reach the lower wiring A due to the micro-loading effect, which is advantageous.

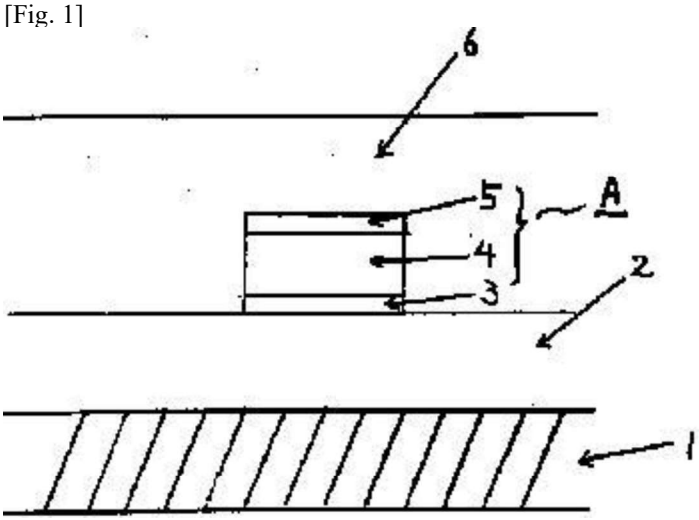
[0029] (Embodiment 2)
Fig. 7 to Fig. 9 are cross-sectional views illustrating the key process steps of Embodiment 2, and Fig. 10 is a plan diagram. The process up to the formation of the via hole 11 and dummy hole 10 is the same as the steps explained in Embodiment 1 in Fig. 1 to Fig. 3.
[0030]
Embodiment 2 differs from Embodiment 1 in that, as shown in Fig. 7, the via hole 11 and dummy hole 10 are filled with tungsten (W) 15 by the blanket W-CVD method.
[0031]
Next, as shown in Fig. 8, etching-back of the tungsten (W) 15 is performed. During this process, the surface of the interlayer insulating film 6 is exposed, and the recess amount of the W film is increased.
Afterward, a high-melting-point metal film (e.g., TiN/Ti) 12 is deposited by sputtering, followed by embedding an Al-based alloy 13 by high-temperature sputtering, and then depositing a reflection prevention film, a high-melting-point metal film (e.g., TiN) 14.
[0032]
Finally, as shown in the cross-sectional view of Fig. 9 and the plan view of Fig. 10, the shape of the upper wiring, including the dummy hole 10, is processed.
[0033]
In both Embodiment 1 and Embodiment 2, the first conductive film of the upper wiring B is described as being made of Al or Al-based alloy film. However, it can also be made of Cu or Cu-based alloy film in the same way.
[0034]

[Effects of the Invention]
As described above, according to this invention, dummy holes serving as an Al supply source can be formed without increasing the number of process steps. Moreover, by forming these simultaneously with a conventional reservoir, the deposition of Al, Cu, and other materials increases, further improving electro-migration resistance.

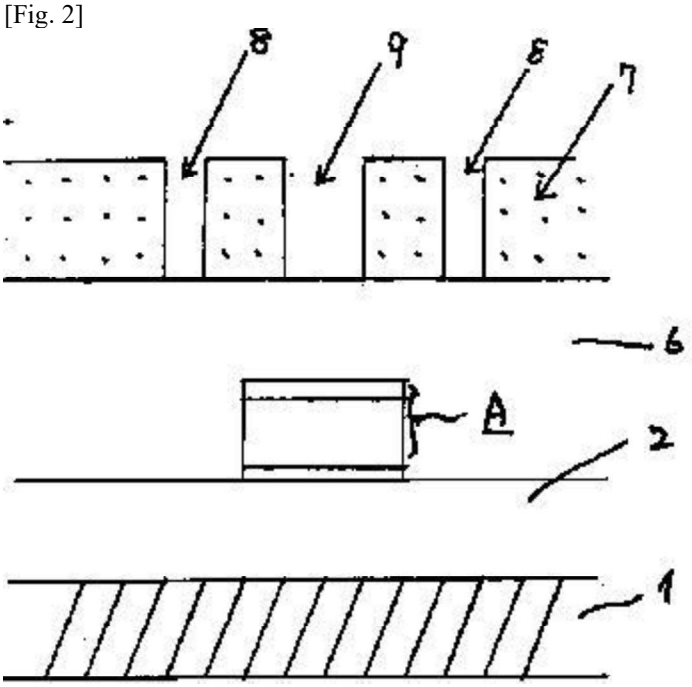
[Brief Description of the Figures]
[Fig. 1] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 1.
[Fig. 2] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 1.
[Fig. 3] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 1.
[Fig. 4] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 1.
[Fig. 5] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 1.
[Fig. 6] It is a plan diagram showing the step in Embodiment 1.
[Fig. 7] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 2.
[Fig. 8] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 2.
[Fig. 9] It is a cross-sectional diagram showing the step in Embodiment 2.
[Fig. 10] It is a cross-sectional diagram showing the step of conventional technology.
[Fig. 11] It is a plan diagram showing the step of conventional technology.
[Fig. 12] It is a cross-sectional diagram showing the step of another conventional technology.
[Fig. 13] It is a cross-sectional diagram showing the step of another conventional technology.
[Fig. 14] It is a cross-sectional diagram showing the step of another conventional technology.
[Fig. 15] It is a cross-sectional diagram showing the step of another conventional technology.

[Description of the Reference Numerals]
1: Si substrate
2: Insulating film (BPSG film)
A: Lower wiring
B: Upper wiring
6: Insulating film (P-TEOS film)
7: Photoresist
8: Dummy hole pattern
9: Via hole pattern
10: Dummy hole
11: Via hole
12: High-melting-point metal (TiN/Ti)
13: Al-based alloy deposited by high-temperature sputtering
14: High-melting-point metal (TiN)
15: W film

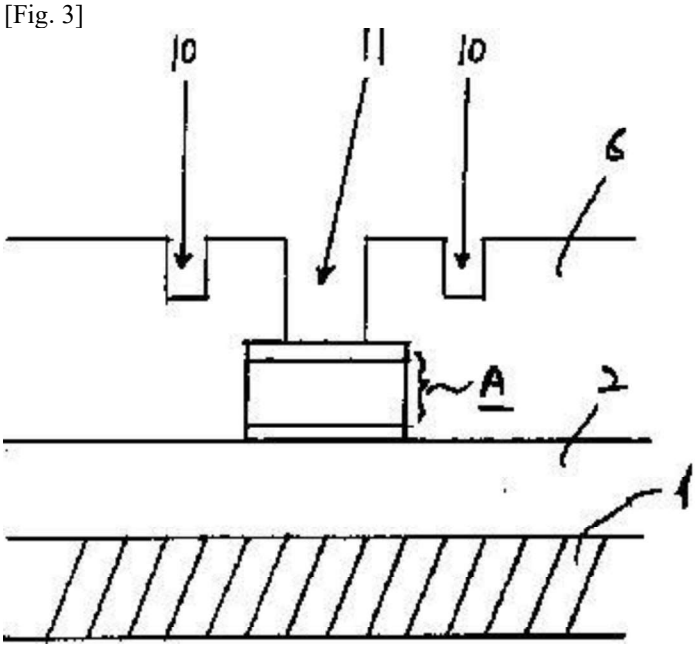
[Fig. 1]



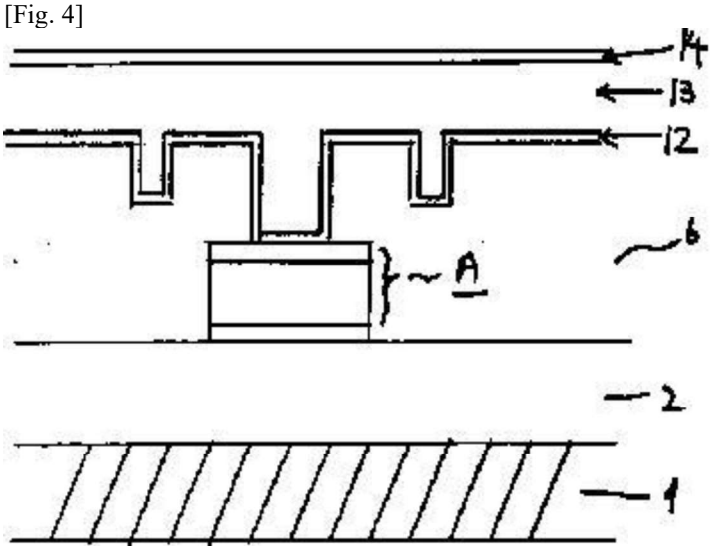
[Fig. 2]



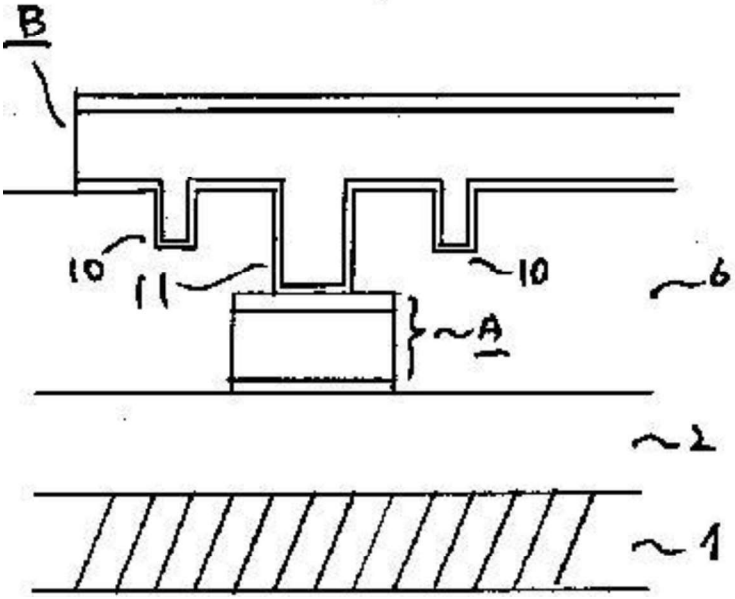
[Fig. 3]



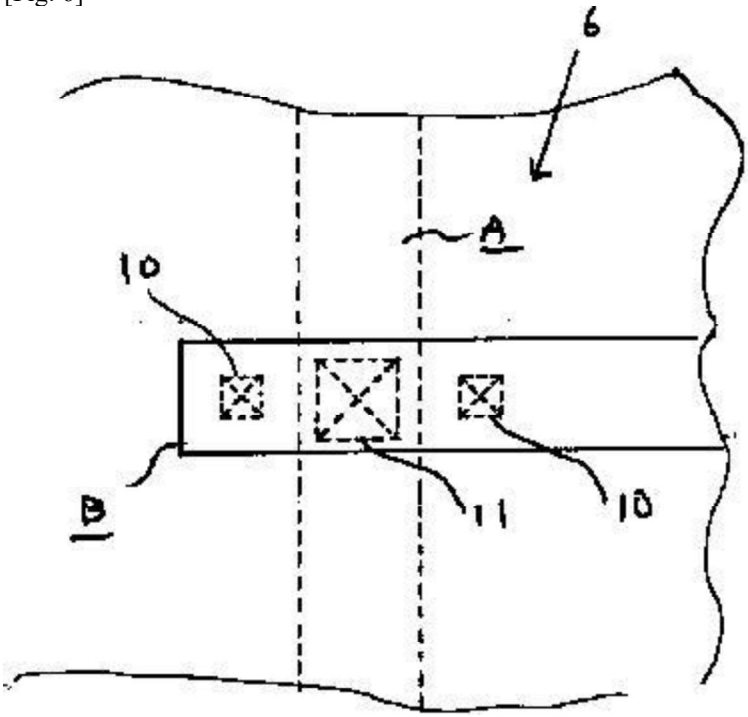
[Fig. 4]



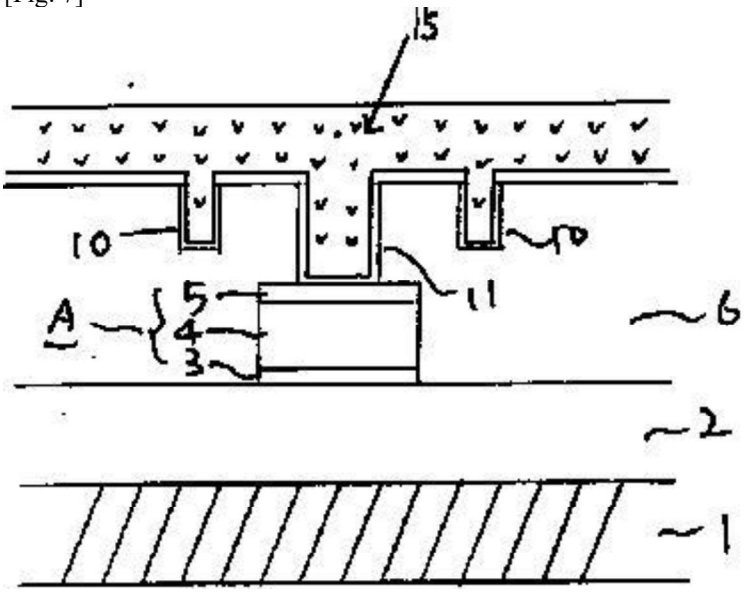
[Fig. 5]



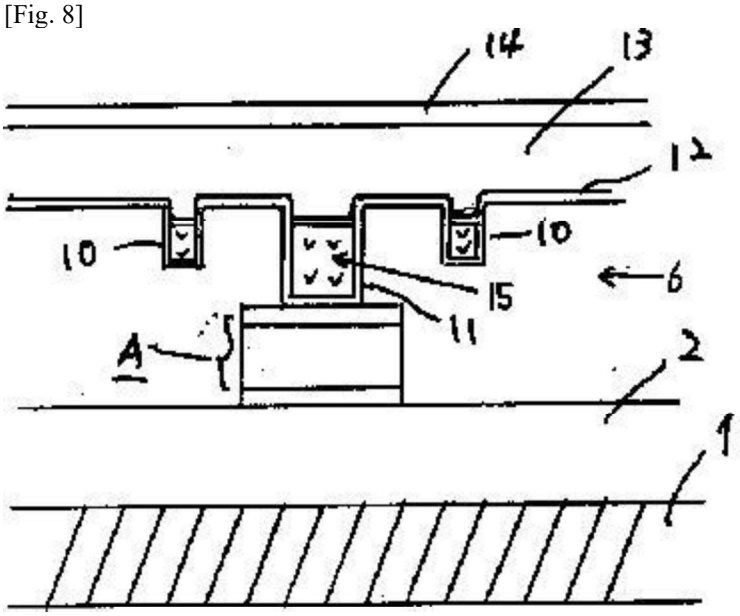
[Fig. 6]



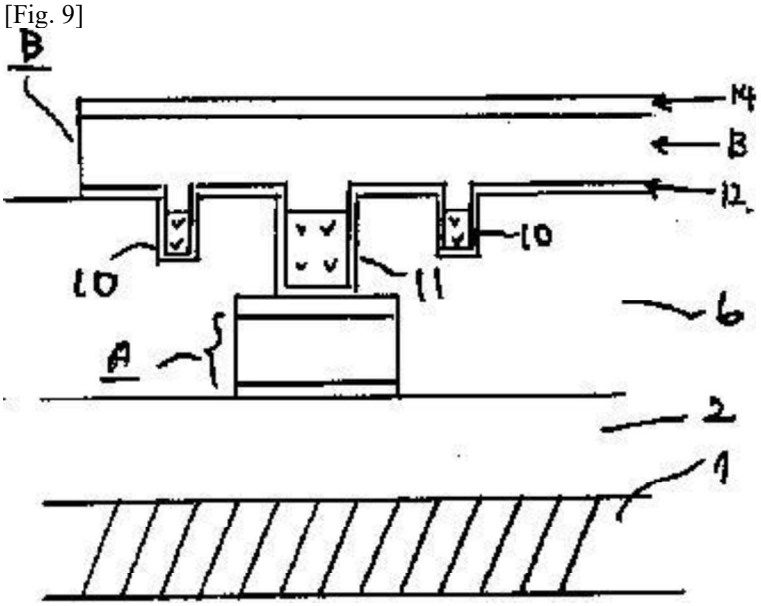
[Fig. 7]



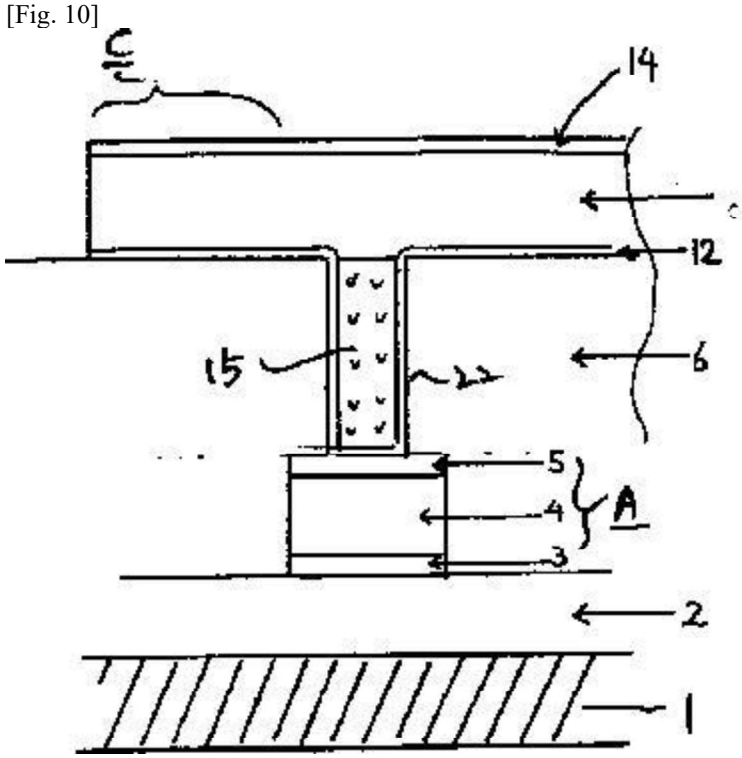
[Fig. 8]



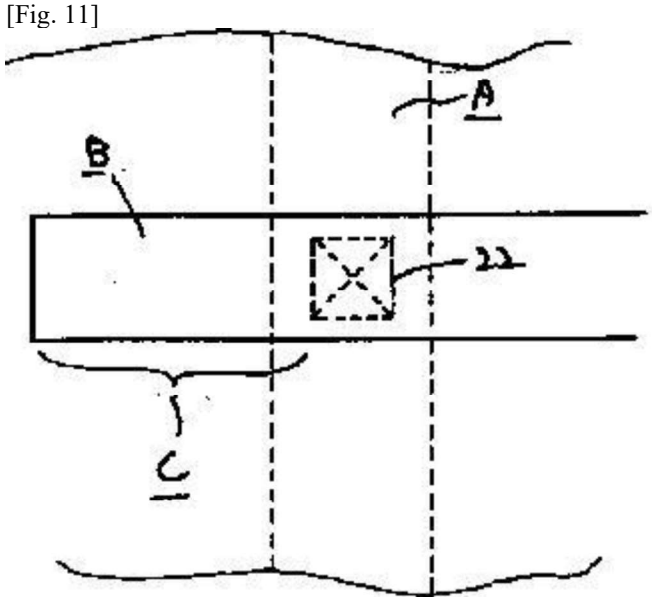
[Fig. 9]



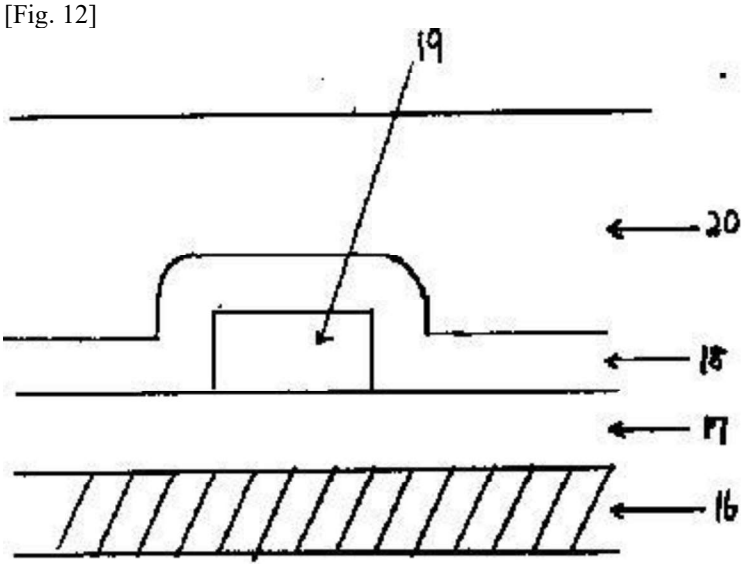
[Fig. 10]



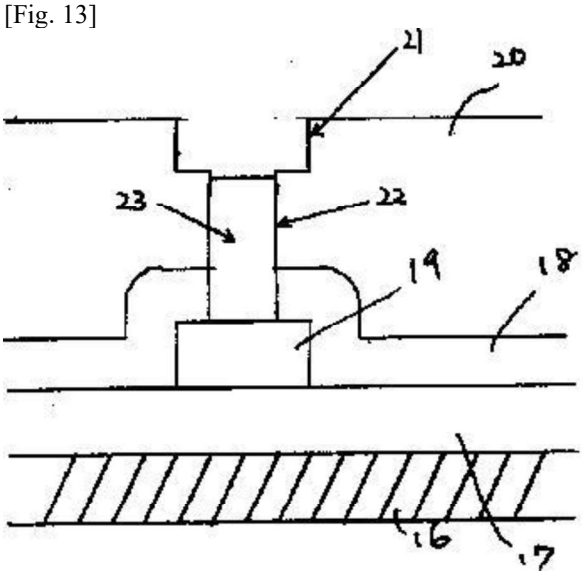
[Fig. 11]



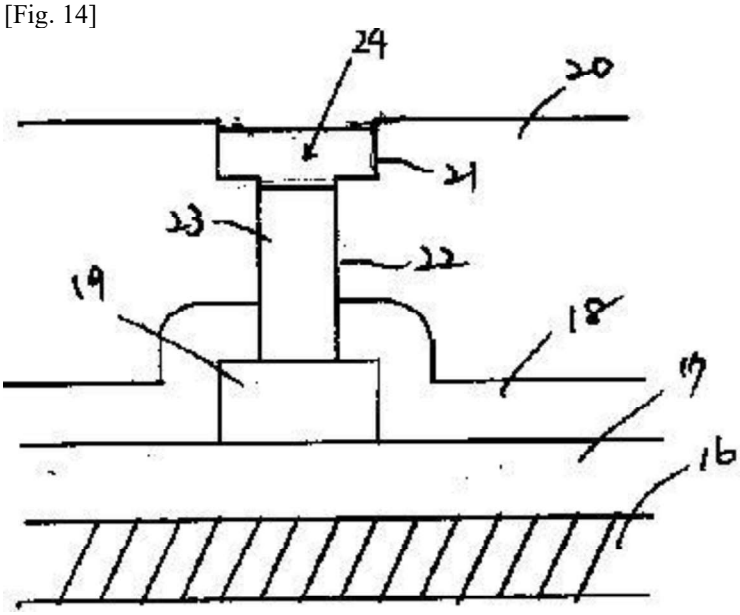
[Fig. 12]



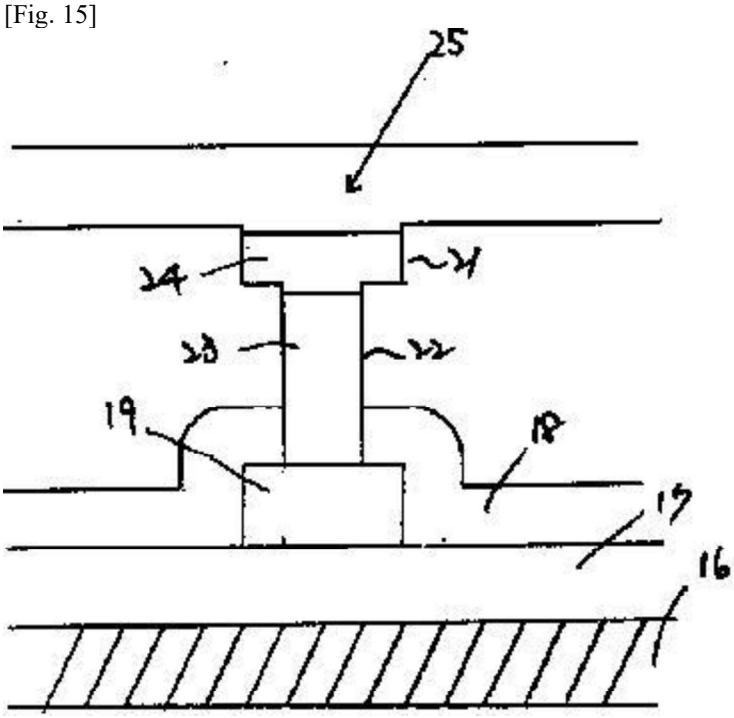
[Fig. 13]



[Fig. 14]



[Fig. 15]



Legaltranslations.biz

(A Division of Nelles Translations)

3 Grant Square Ste. 336 • Hinsdale, IL 60521 • 630-539-8082 • www.nellestranslations.com

Certification

This is to certify that the foregoing translation of the document entitled **"Semiconductor Device and Its Manufacturing Method (**JPA 2000012688)**"** was made from Japanese to English by a competent professional translator that is proficient in both languages. This work, to the best of our knowledge and belief, is a true and complete rendering into English of the original document.

Date: May 12, 2025

Donald W. Hanley, CEO